

# がっこう⇔たかさき としょかん通信 No.16

2015. 12

## ❖ 年末年始の図書館利用法 ❖

年末年始、学校もばたばた、私用でも大忙し、という方が大半かと思います。

大掃除、旅行、さまざまなことで時間を過ごされると思いますが、高崎市立図書館で年末に読みたい本を借りておいて年の初めに堪能する、なんて利用法もあります。



### とはいえ、まずは年末の大掃除！

「ラクしてキレイが続く！お掃除のツボ」

「ナチュラル洗剤でちょこっとピカピカ掃除！」

などなど実用書もとりそろえております。また、図書室のディスプレイを魅力的なものに変えたい！という方に、はつかいち市民図書館のHPの「図書館お役立ちページ（青少年向け）」も参考になります。ちょっとカジュアルすぎ、という方には「ブックパンケーキ」などもおもしろいです。

### さてさて、お楽しみの自分読書

図書館を活用するのにおすすめなのが、少し前に流行った本です。「そういえばあの本読んでみたかった」そんなタイトルがありましたら、この機会にぜひ借りて読んでみてください。

そうは言っても、タイトルが思い出せない、という方には、以下のような本はいかがでしょう。



#### ◆ 森絵都 著 「カラフル」

産経児童出版（さんけいじどうしゅっぱん）文化賞を受賞した作品ですが、おとなの方でも十分楽しめる小説です。

#### ◆ 水野敬也 著 「夢をかなえるゾウ」

自己啓発本は読む気が起きない、という方でも面白く人生のヒントに出会えるかもしれません。

#### ◆ 沢木耕太郎 著 「深夜特急」（※第1便～3便、1～6）

いわゆる「旅行」ではなく「放浪」する中で感じたその国の特徴、人間模様などが詳細に描かれています。とくにバックパッカーから「バイブル」として絶大な支持を受け、1986年出版以降、長く愛され続けている作品です。

そのほか「世界がもし100人の村だったら」や「夜と霧」もおすすめてです。

本を読むと、違った考えや世界に触れることができ、自分の世界が広がります。年末年始に本を集中して読むことで、雑念を払い、自分をリセットするのも有効ではないでしょうか。

## 地域館通信 【山種記念吉井図書館】 TEL: 027-387-7249

### ＊これから企画＊

《この本だいすき！おすすめですよ》12月25日(金)まで

秋の読書週間中、利用者のお気に入りの本を教えてもらったカードを  
クリスマスカードにして掲示・紹介しています。

読んだことのない本を発見できるかも

《まちどおしいな クリスマス》12月25日(金)まで

クリスマスにちなんだ本の展示・貸出

《初読み！子どもの本の福袋》1月5日(火)10時～17時まで

テーマ毎に選んだおすすめ本の福袋を用意します。

図書利用券を持って図書館へ行こう



### ＊ご利用ください＊

☆手作り大型紙芝居《アリババと40人の盗賊》☆

図書館職員が作成した通常の約8倍の大きさで、15面

ナレーションCDつき

お問い合わせは山種記念吉井図書館まで

## 🐾おすすめ本あります🐾 part3

### ＊発信する学校図書館ディスプレイ＊

吉岡 裕子（著）・少年写真新聞社（出版）

どうしたら多くの生徒に図書館を利用してもらえるのか、  
どんなディスプレイが生徒の興味を引くのか…。



図書館をいかに発信していくかのアイデア満載！！

絶対にマネしたくなります。

ぜひご一読を！



高崎市立中央図書館 学校連携担当 宮澤・東・天内

TEL:027-322-6767 / FAX:027-324-3423

Mail: toshokan@city.takasaki.lg.jp